



小松マテール株式会社 IRミーティング

2025年5月15日(木)
兜町平和ビル3階 第3セミナールーム

Art in Technology
komatsumateRe



もくじ

- I. 会社概要
- II. 2025年3月期 決算概要
- III. 2026年3月期 業績見通し
- IV. 中期経営計画の進捗状況



I . 会社概要

業 種：繊維の染色加工技術を基盤とした素材製造業

本 社：石川県能美市浜町又167番地

営業所：東京、大阪

(ショールームは東京 南青山及びミラノ)

工 場：本社、美川

設 立：1943年10月8日

株 式：東証プライム市場

資本金：46億8千万円 (外国株主16.9%)

有利子負債 0円、利益剰余金 319億円

売上高：2024年度 395億26百万円

(注) ・連結子会社 国内5社、海外1社
・持分法関連企業 2社



社員数：1,203名 (連結)

生産規模：約 2億m²/年

シェア：国内シェア14%
織物では33%

2024年度 売上高 395億円

製品部門



製品部門
14億(3.5%)

その他
5億(1.2%)

資材ファブリック部門
85億(21.5%)

衣料ファブリック部門
290億 (73.4%)



衣料ファブリック

資材ファブリック



小松マテレーが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した
価値観であり、全ての活動の指針とするものです。

ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる
素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

小松マテレーは
人々の感動を創造します

高度な技術と豊かな感性の融合により
驚きと感動を与える価値ある商品を
創造しよう

※本経営理念は1993年に50周年
を迎えた際に見直された

小松マテレーは
地球・社会に貢献します

企業活動を通じて
地球環境の保護保全に努め
全世界の人々が
健康で快適な社会づくりに貢献しよう

小松マテレーは
社員と共に成長します

社員がプロとして自らを高め進化することで
企業の成長を図ろう

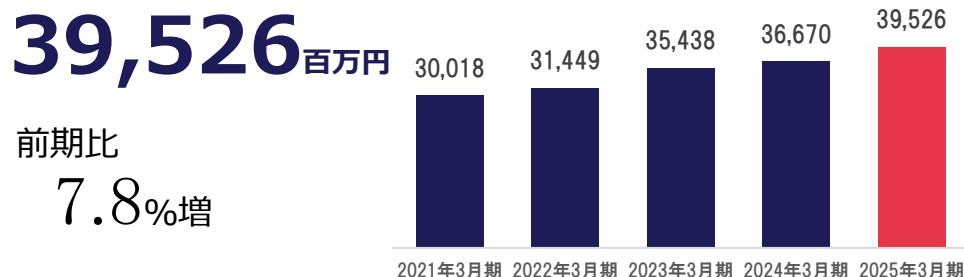
“環境”は1990年代から
当社の優先課題に位置づけ



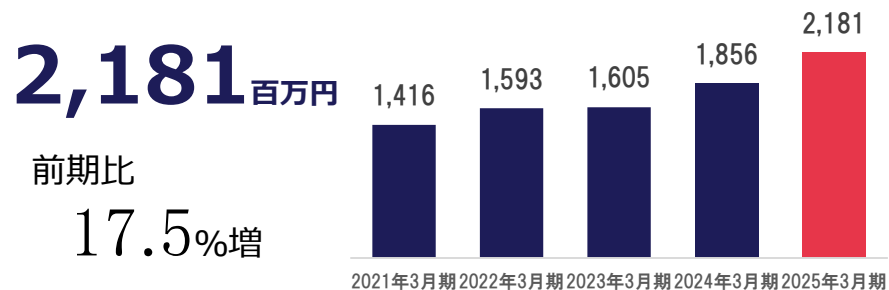
Ⅱ . 2025年3月期 決算概要

Ⅱ-1. 決算概要 「2025年3月期決算 財務ハイライト」

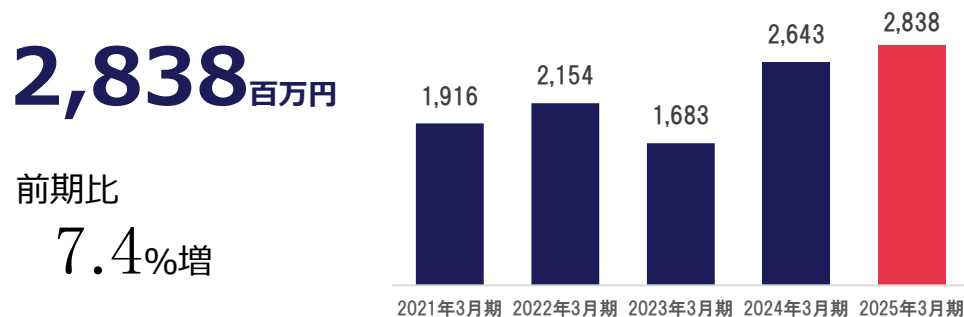
売上高



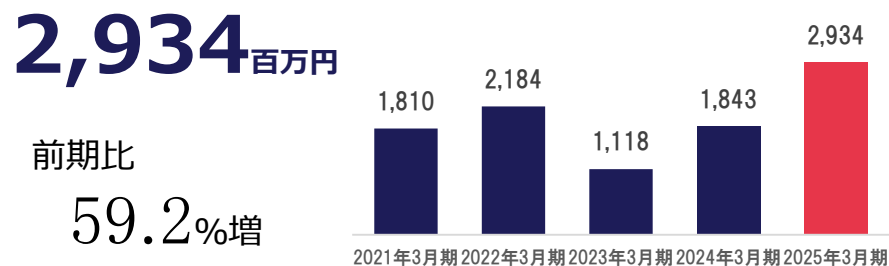
営業利益



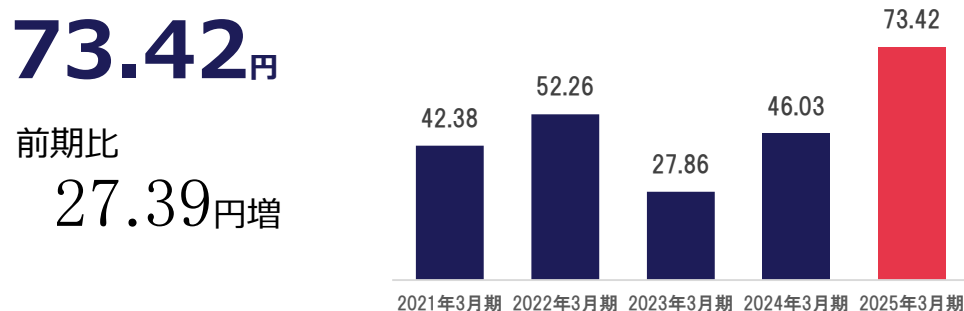
経常利益



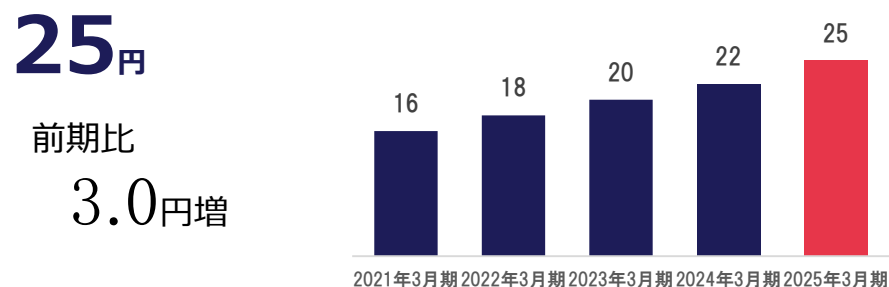
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たりの当期純利益



1株当たりの年間配当金



Ⅱ-2. 決算概要 「連結業績のセグメント別内訳」

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前期 実績	2025年 3月期 実績	増減		前期 実績	2025年 3月期 実績	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	36,147	39,015	2,867	7.9	1,775	2,102	327	18.4
衣料ファブリック	26,479	29,030	2,550	9.6	1,750	2,000	250	14.3
資材ファブリック	8,290	8,556	265	3.2				
製品部門	1,378	1,429	51	3.7	25	102	77	308.0
その他の事業	522	511	△11	△2.3	81	79	△2	△2.5
合計	36,670	39,526	2,855	7.8	1,856	2,181	324	17.5

<コメント>

●衣料ファブリック

欧州ラグジュアリーブランドを含むファッション、中東民族衣装が増加。特に北米、国内のファッションが好調。

●資材ファブリック

不採算事業から撤退したものの、車輦分野や生活関連資材分野で受注が増加により堅調に推移。

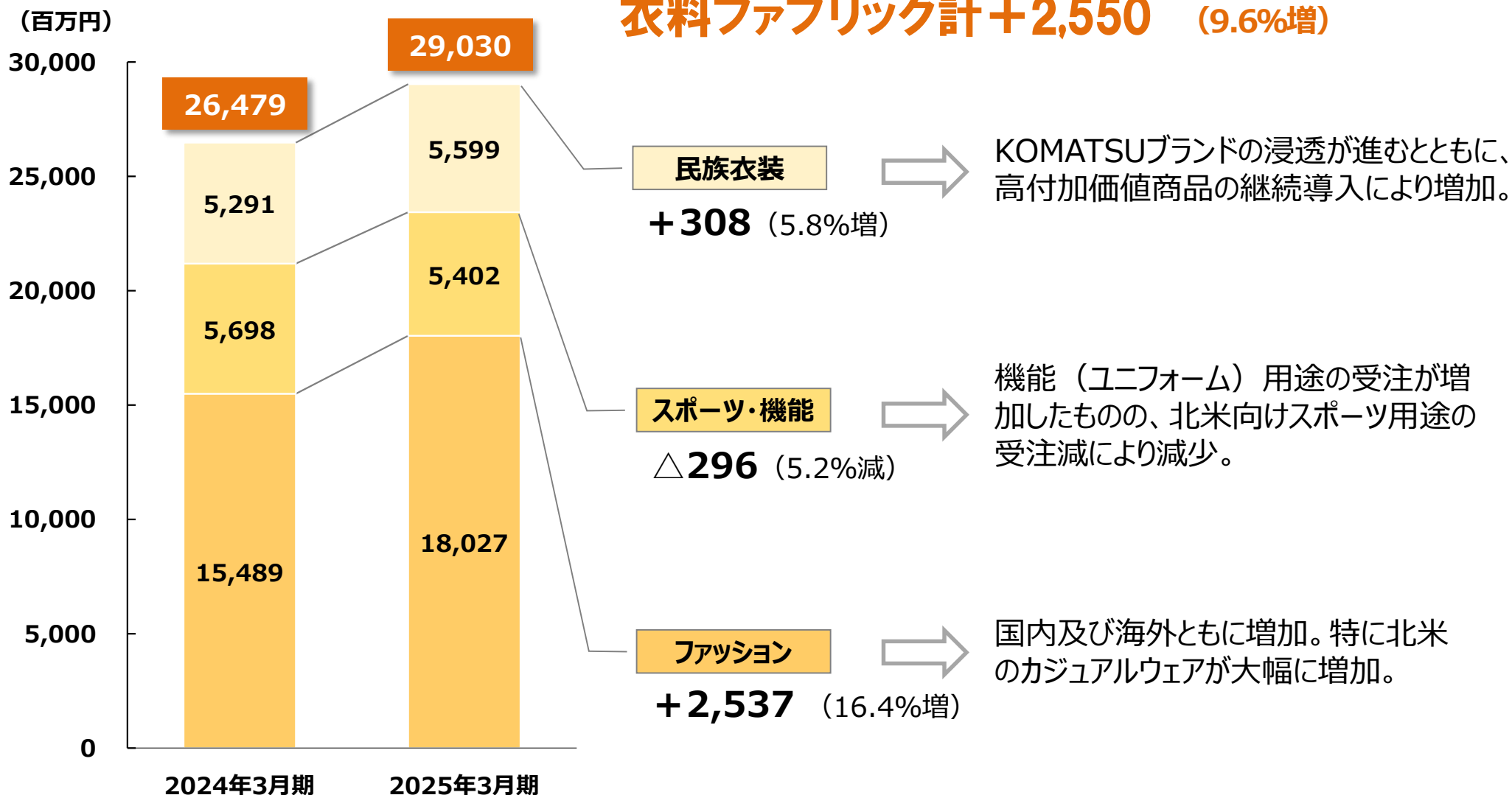
●製品部門

販売体制を強化し、自社製品ブランドの市場への浸透を図ったことにより増加。

Ⅱ-3. 決算概要 「繊維事業（衣料ファブリック部門）」

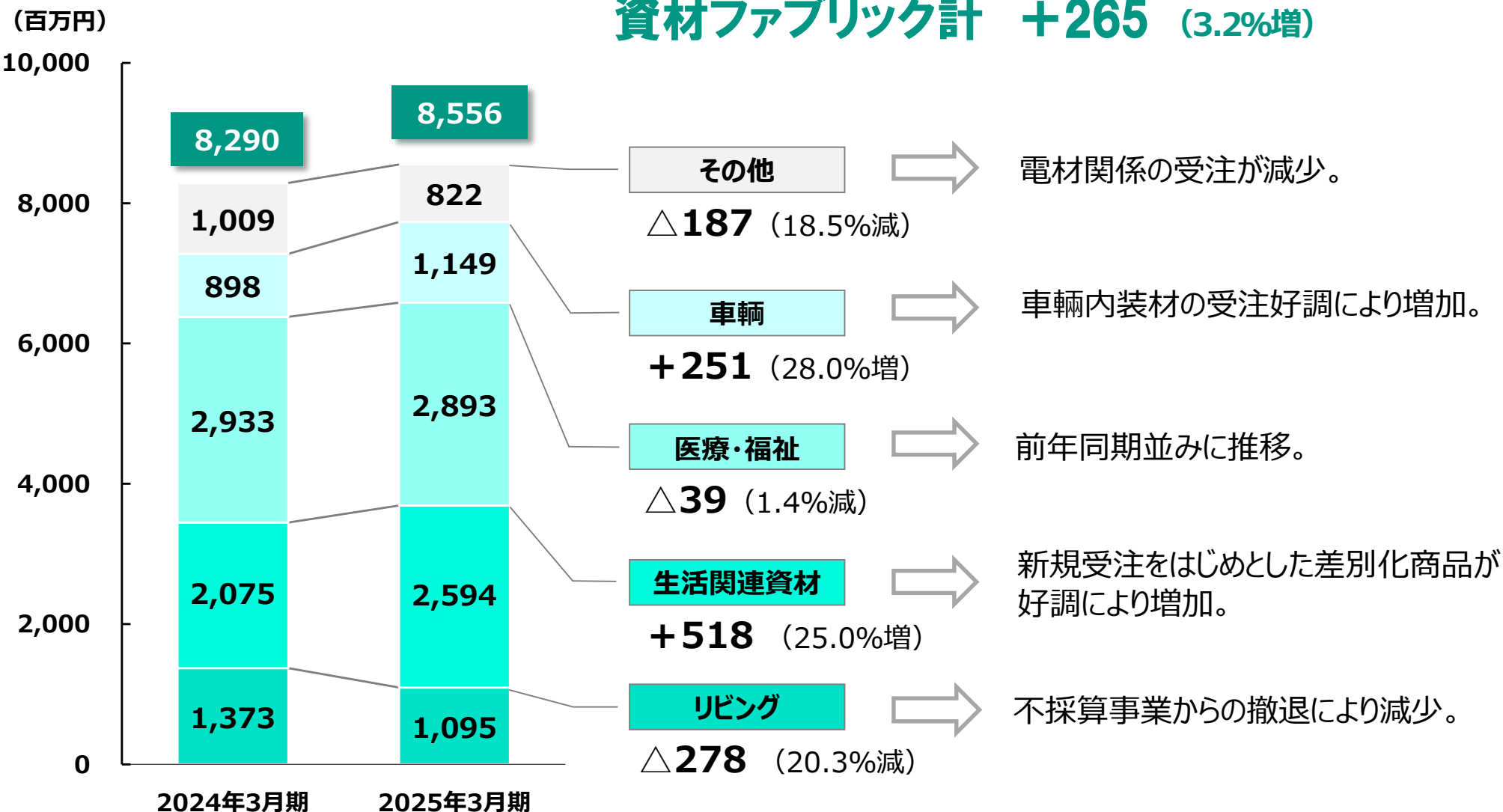
(単位：百万円)

衣料ファブリック計 +2,550 (9.6%増)



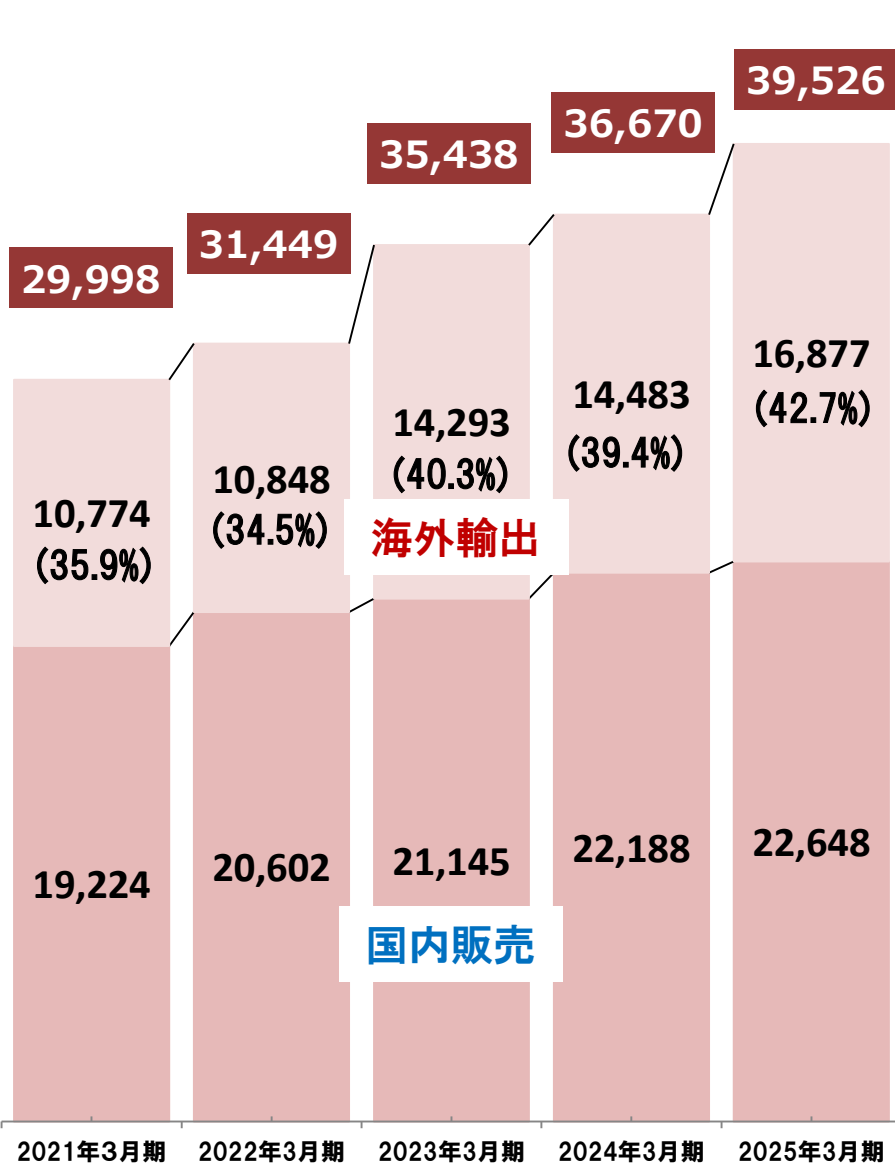
(単位：百万円)

資材ファブリック計 +265 (3.2%増)



Ⅱ-5. 決算概要 「市場別売上高（国内・海外）」

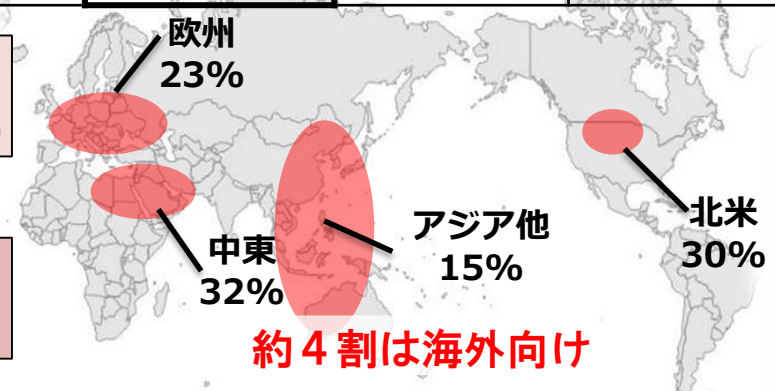
（単位：百万円）



	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	増減率 (%)
欧州	3,840	3,836	△3	△0.1
北米	3,386	5,086	1,699	50.2
アジア他	2,158	2,611	453	21.0
中東	5,097	5,343	245	4.8

海外
+2,394 (16.5%増)

国内
+459 (2.1%増)

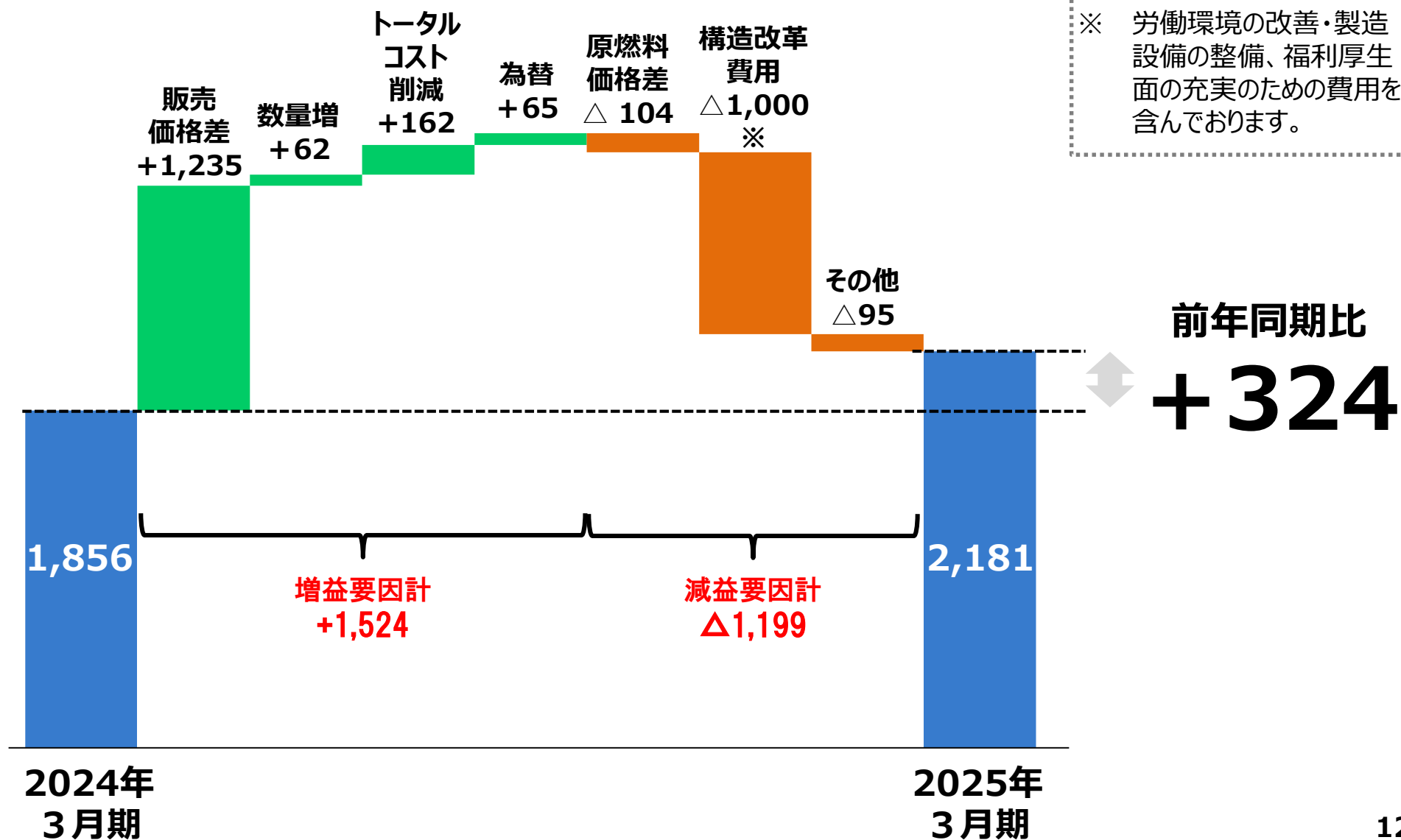


- 海外市場
 - ＜欧州＞ スポーツ分野が減少したものの、ラグジュアリーブランド含むファッションが増加し堅調に推移。
 - ＜北米＞ カナダ向けのファッションが大幅に増加。
 - ＜アジア他＞ 中国、オーストラリア向けファッションが増加。
 - ＜中東＞ KOMATSUブランドの浸透が進むとともに、高付加価値商品の継続導入により民族衣装が増加。
- 国内市場
 - 大手SPA向けが堅調に推移。

Ⅱ-6. 決算概要 「営業利益増減分析」

(単位：百万円)

※ 労働環境の改善・製造設備の整備、福利厚生面の充実のための費用を含んでおります。



Ⅱ-7. 決算概要 「剰余金の配当について」

◆当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

◆配当性向については当期純利益の40%以上を目安といたします。

●今期の期末配当金額は、1株につき13円といたしました。今期中間配当金額と合わせた年間配当金は、前期比3円の増配となる1株当たり25円となります。

●期末配当金の総額 517,269,935円

●剰余金の配当が効力を生ずる日
2025年6月23日(月)

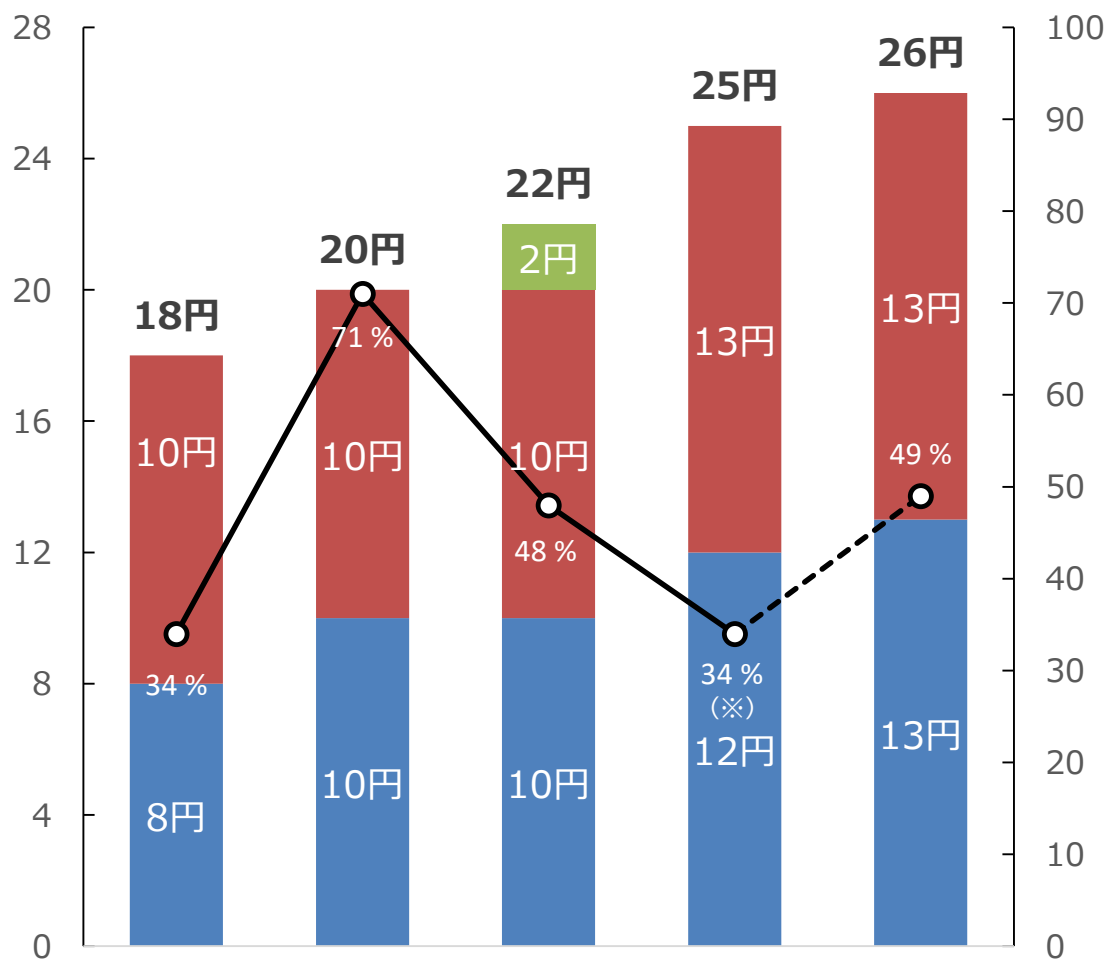
●当期末の配当性向は 34%(※)となっております。

(※) 関係会社清算による特益要因を除く配当性向は 45%となっております。

配当額 (円)

配当推移

配当性向 (%)



2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期 (予想)

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当 — 配当性向



Ⅲ. 2026年3月期 業績見通し

Ⅲ-1. 2026年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

項 目	2025年3月期 実績	2026年3月期			増減（通期比較）	
		上期予想	下期予想	通期予想	金額	増減率 （%）
売上高	39,526	20,000	21,000	41,000	1,473	3.7
営業利益	2,181	850	1,350	2,200	18	0.9
経常利益	2,838	1,100	1,600	2,700	△138	△4.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,934	850	1,250	2,100	△834	△28.4

一株当たり当期純利益	73.42円	52.99円
------------	--------	--------

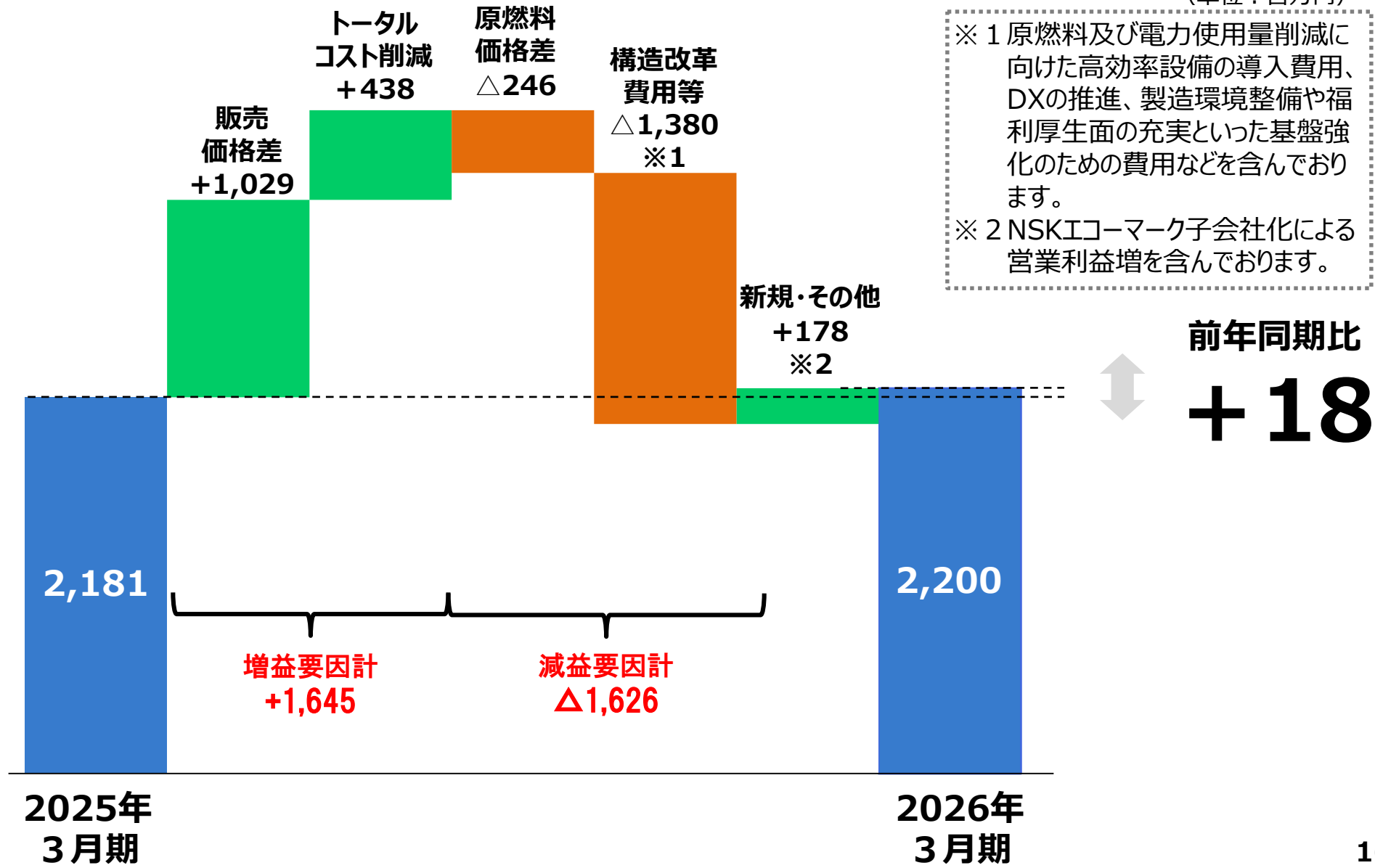
期中平均 為替レート	USD	152.62円	145.00円
	EUR	163.88円	153.70円

Ⅲ-2. 業績見通し「営業利益増減分析」

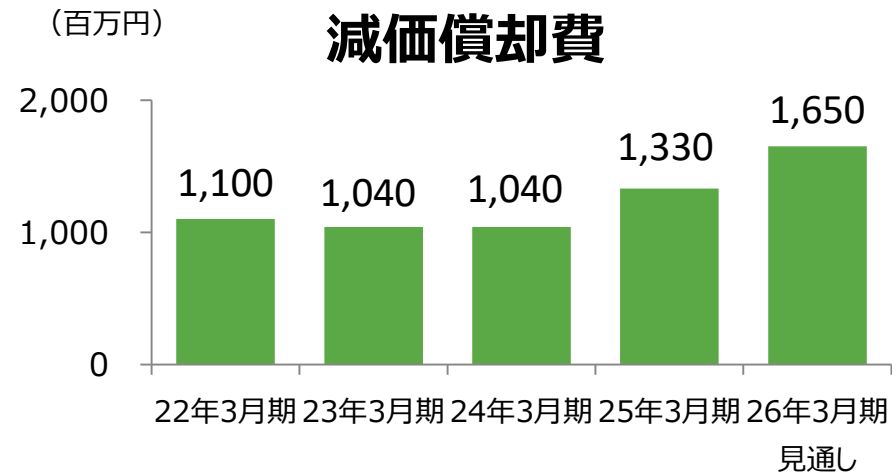
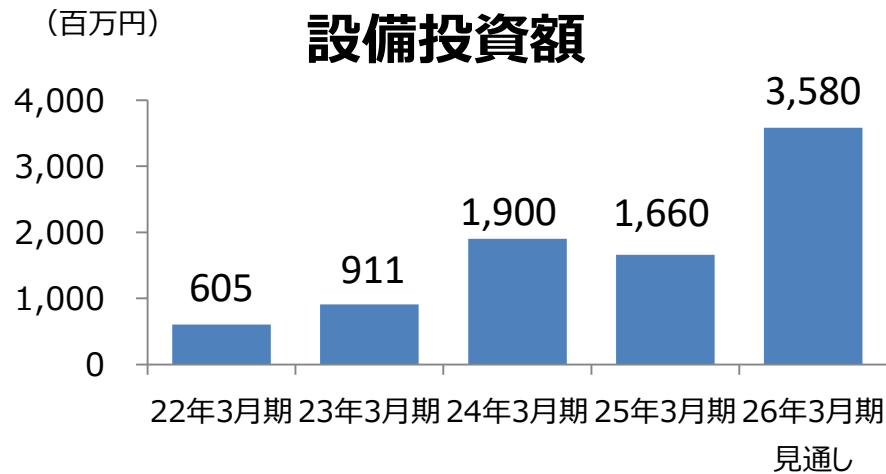
(単位：百万円)

※ 1 原燃料及び電力使用量削減に向けた高効率設備の導入費用、DXの推進、製造環境整備や福利厚生面の充実といった基盤強化のための費用などを含んでおります。

※ 2 NSKエコーマーク子会社化による営業利益増を含んでおります。



Ⅲ-3. 業績見通し「設備投資額・減価償却費推移」



設備投資額 内訳

(単位：百万円)

項 目	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し
製造関連投資	650	1,731
開発関連投資	60	120
環境関連投資	690	860
システム関連投資	80	190
その他	180	679
合計	1,660	3,580



IV. 中期経営計画の進捗状況

IV- 1 . 中期経営計画 「実績と数値目標」

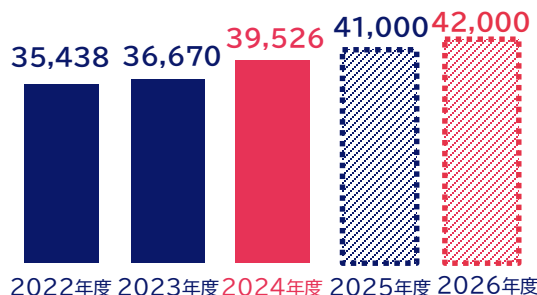
連結財務ハイライト

売上高

39,526 百万円

(単位:百万円)

前年度比
7.8%増

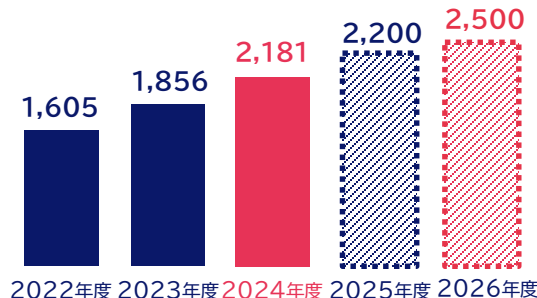


営業利益

2,181 百万円

(単位:百万円)

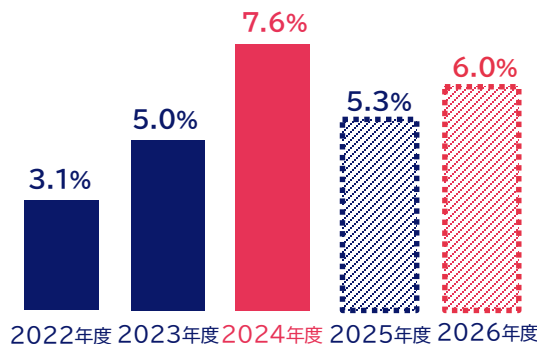
前年度比
17.5%増



ROE

7.6%

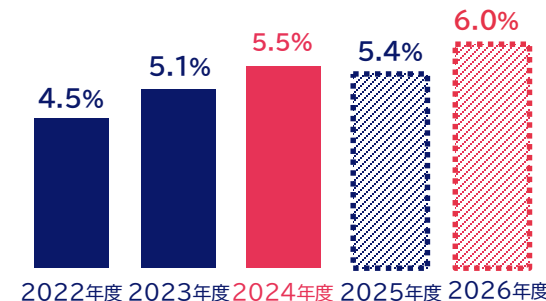
前年度比
2.6P増



営業利益率

5.5%

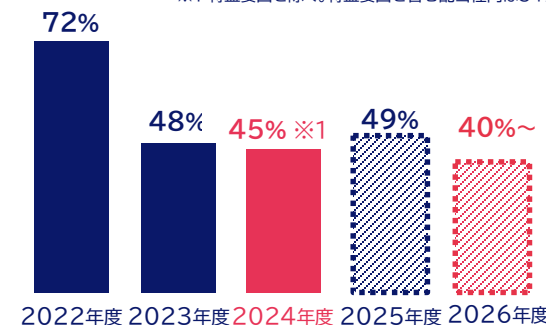
前年度比
0.4P増



配当性向

45% ※1

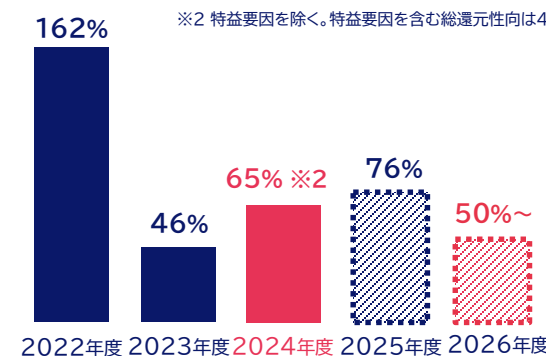
※1 特益要因を除く。特益要因を含む配当性向は34%



総還元性向

65% ※2

※2 特益要因を除く。特益要因を含む総還元性向は49%



KFW-2026

スローガン

Art in Technology

技術と感性で人々と社会をより豊かに

事業領域

1

海外事業の拡大
ファッション衣料と非衣料分野

2

小松マテーレ式
サステナブル
商材・事業の推進

3

製品事業の推進

基盤強化

4

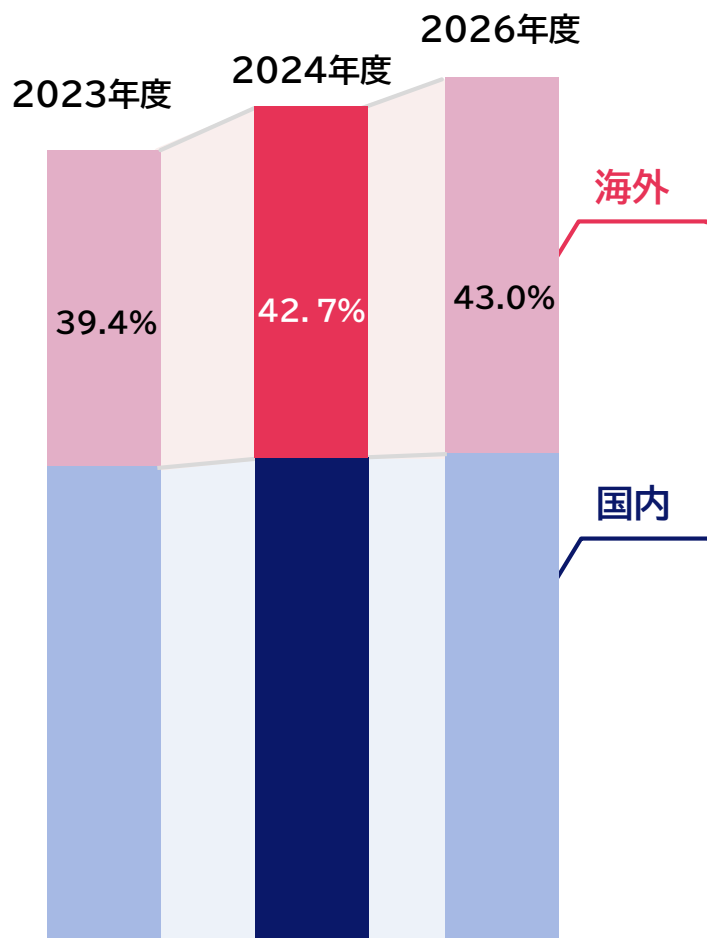
人材育成の強化と
エンゲージメントの向上

5

製造環境の整備、
福利厚生面の充実

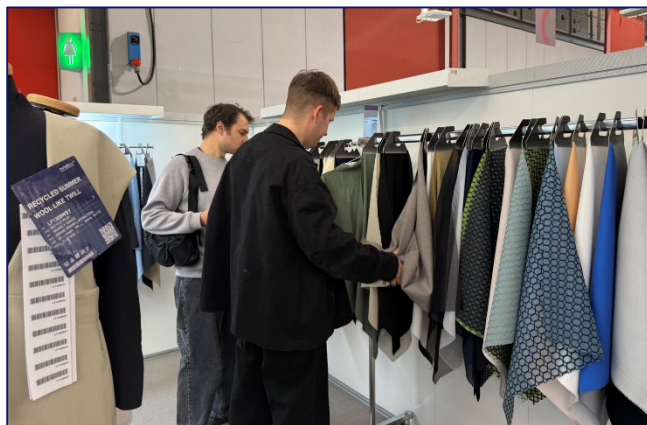
IV-3. 中期経営計画 「海外事業の拡大」

売上に占める国内・海外の比率



○イタリアでミラノ・ウニカ展に単独出展

イタリア・ミラノにおいて世界最高峰の生地
の展示会である「ミラノウニカ」へ出展。**欧州企業
以外で初めて単独ブースで出展**が認められまし
た。環境配慮商品を中心に出品いたしました。



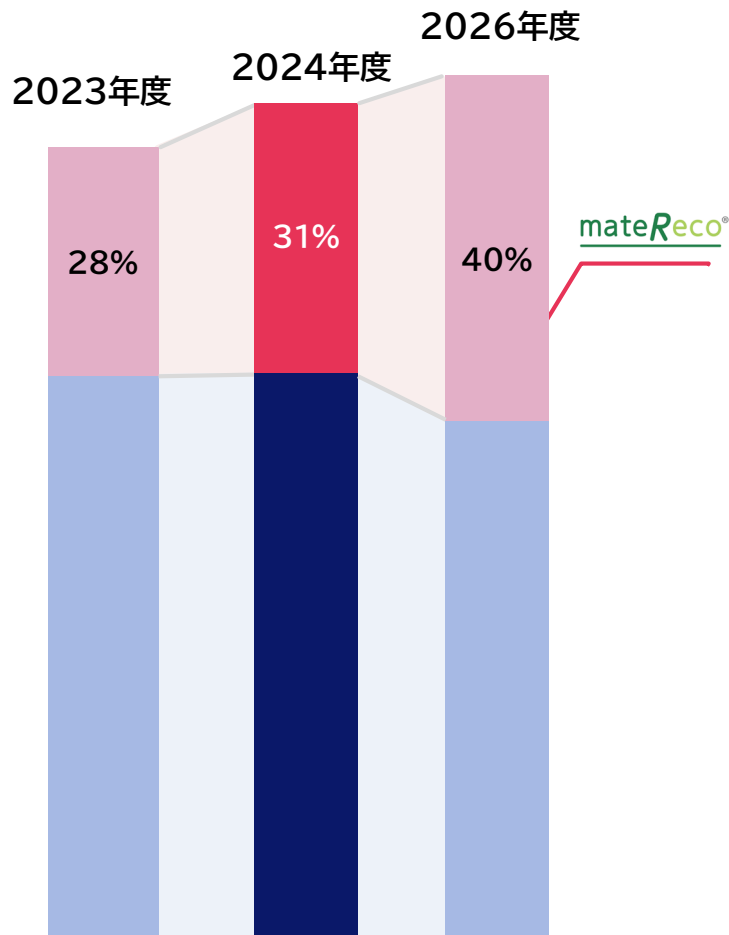
○中国に新会社を設立

製品品質の向上および技術協力・指導を目的に、中国に新会社「**小松
美特料（蘇州）咨询有限公司**」を設立しました。

国内外で高品質、高付加価値商品を生産・販売できる盤石な体制を
築いてまいります。

IV-4. 中期経営計画 「サステナブル商材・事業の推進」①

売上に占める環境配慮素材 「mateReco®」の比率



新たにGRS認証を取得し、「mateReco®」をメインに、サステナブル事業の拡大に努めております。

○ GRS認証取得

当グループは、2025年4月から、**GRS (Global Recycled Standard)** 認証を受けております。

日本の染色加工場の主管拠点で初めての取得となります。

■ GRS 認証とは

アメリカの NPO 法人 Textile Exchange によって定められた国際的な自主基準。リサイクル、加工流通、社会・環境、化学物質等の運用や規制に関わる第三者認証の要件を設定しています。



Certified by KE'KEN / KN0051

■ サステナブル経営に向けた国際的な取り組み

サステナブルな意識の高まりに対応すべく、サステナブル専門部署「**QES室**」を新設いたしました。サステナブル認証の維持管理のため、以下の①～③を遂行する役割を果たします。

- ① **品質保証** (Quality Assurance)
- ② **環境・エネルギー** (Environment & Energy)
- ③ **安全防災** (Safety & Disaster Prevention)

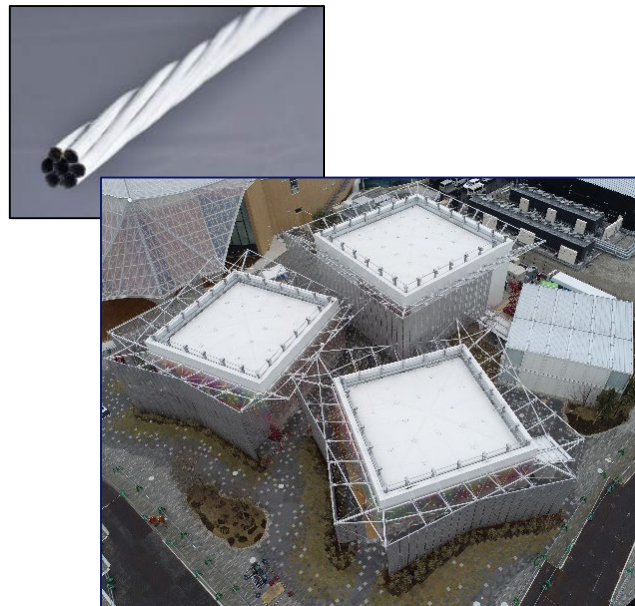


IV-4. 中期経営計画 「サステナブル商材・事業の推進」②

○ 新規事業の進捗状況

■ 炭素繊維複合材料「カボコーマ・ストランドロッド」

- ・大型鉄骨建屋補強の新工法について、2026年夏ごろの評定の取得を目指しております。
- ・**2025 年大阪・関西万博**の「**NTT パビリオン**」に、建物の長期荷重を負担する構造部材として日本で初めて採用されております。



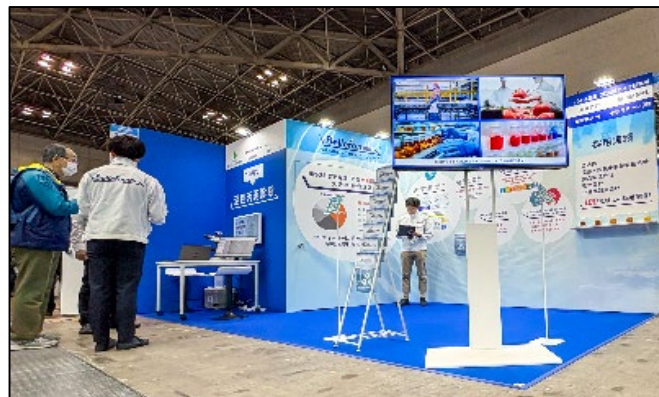
大阪・関西万博 NTT パビリオン
航空写真(提供:奥村組)

■ 排水汚泥削減バイオ製剤「ベリフォーマー」

- ・「ベリフォーマー」の汚泥削減効果が自治体や企業に認められてきております。
採用件数 8 件（2024年3月末現在） ⇒ **40 件**（2025年3月末現在）
- ・国内最大級の水ビジネス専門の展示会「InterAqua2025」をはじめとした展示会にも出展いたしました。

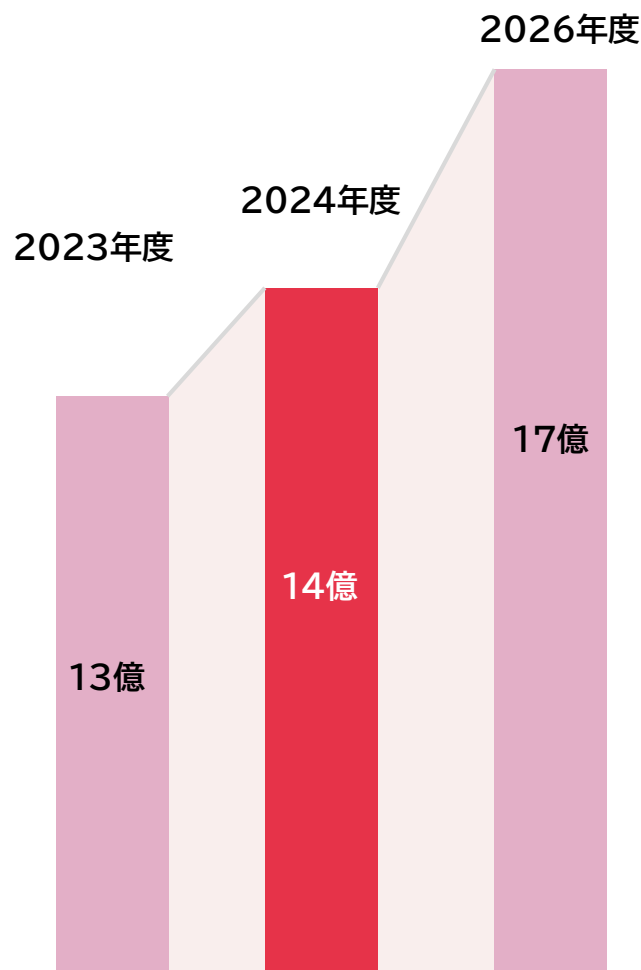
■ 多孔質セラミックス素材「グリーンビズ」

- ・石川県能登地区の粘土質の赤土土壌に、顆粒状の「グリーンビズ」を添加し、土壌が乾いても硬くならず、濡れた状態でも植物が吸水しやすい保水状態になることが実証されました。



「InterAqua2025」の様子

製品部門の売上

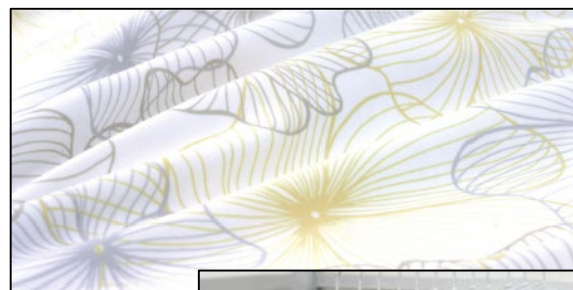


○株式会社NSKエコーマーク子会社化

2025年2月に株式会社NSKエコーマーク（以下「NSKエコーマーク」）の株式を100%取得し、子会社化しました。

■会社概要

1985年設立、東京都に本社、群馬県吾妻郡に生産拠点を置き、スポーツアパレル分野を中心とした、シルクスクリーンプリント、ラバー圧着、刺繍、昇華転写、縫製といった加工技術を強みとする繊維メーカー。



■今後の事業展開

スポーツアパレル分野を中心に製品事業の拡大・強化を推し進め、当社とNSKエコーマークのリソースとノウハウを最大限に活用することにより新たな価値創造を実現し、当社グループのブランド力を一層強化できると期待します。



IV-6. 中期経営計画 「基盤強化課題」

人的資本に関する主な指標

指 標	2024年度 実績	2026年度 目標
社員一人当たりの研修費用	1.3万円	4万円以上
新卒者における離職率 (入社3年以内)	6.1%	10%以下
年次有給休暇の取得率 取得日数／付与日数(※) (※)繰越日数を除く最大20日	63.1%	70%以上
障がい者雇用率	2.3%	3%以上
男性の育児休職取得率	18.8%	50%以上
管理・監督職に占める 女性の割合	12.1%	20%以上

中期経営計画の基盤強化課題「人材育成の強化とエンゲージメントの向上」「製造環境の整備、福利厚生面の充実」の一環として、従業員エンゲージメントの向上及び福利厚生の充実を図るため、東京営業所の移転、大阪営業所の改装・増床に続き、本社社屋を改装いたしました。

○ 職場環境の改善

社員が自分たちの働いている場所に誇りをもって働けるよう、また、社員のモチベーション向上や人材確保につながるよう、職場環境の改善を図っております。



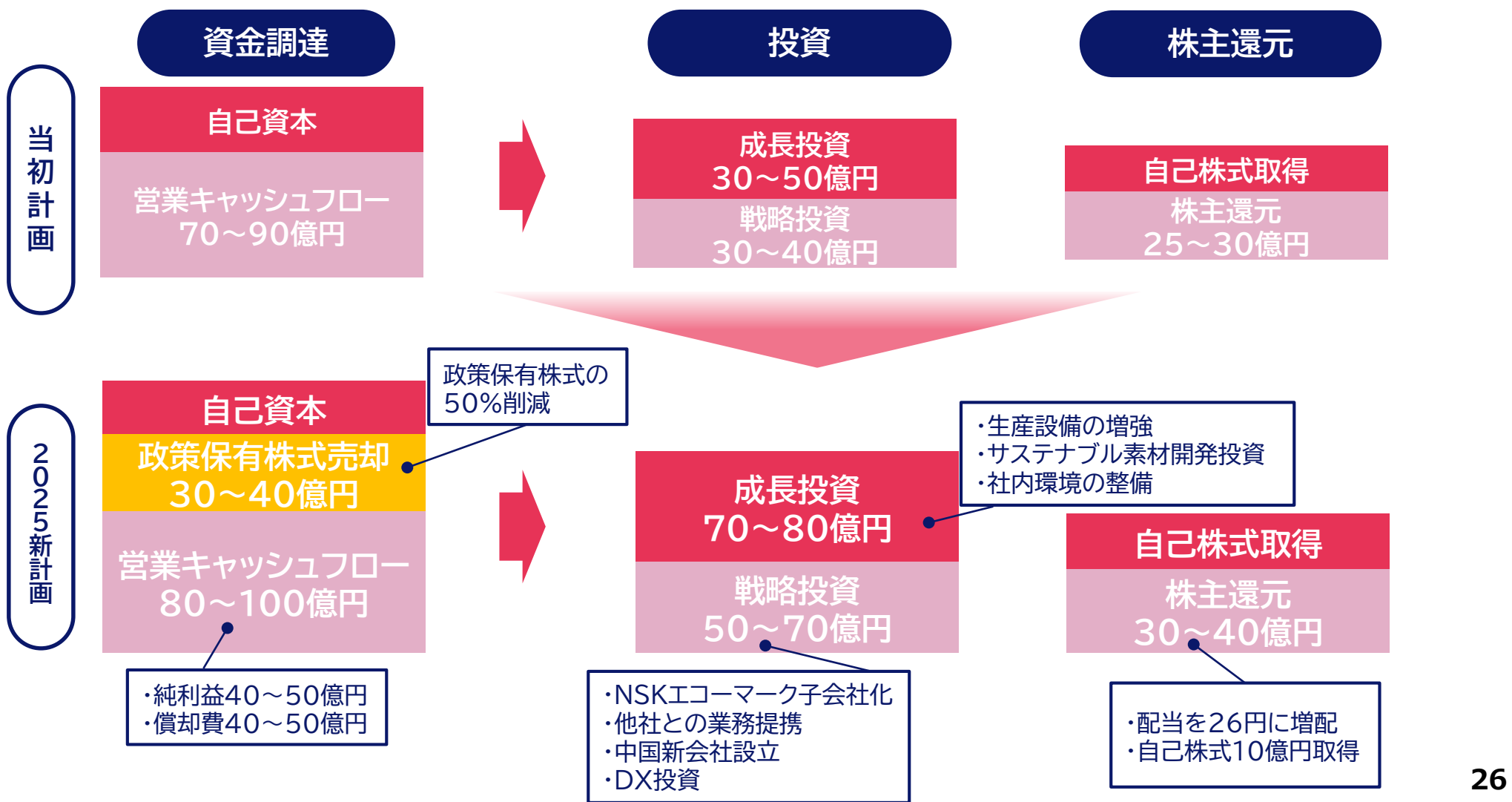
東京営業所



本社

IV-7. 中期経営計画 「キャッシュアロケーションについて」

中期経営計画「KFW-2026」の当初計画をアップデートし、自己資本や営業キャッシュフロー、政策保有株式の削減による資金調達を有効活用することで、更なる成長・戦略投資及び自己株式取得等の持続的な株主還元を実現してまいります。

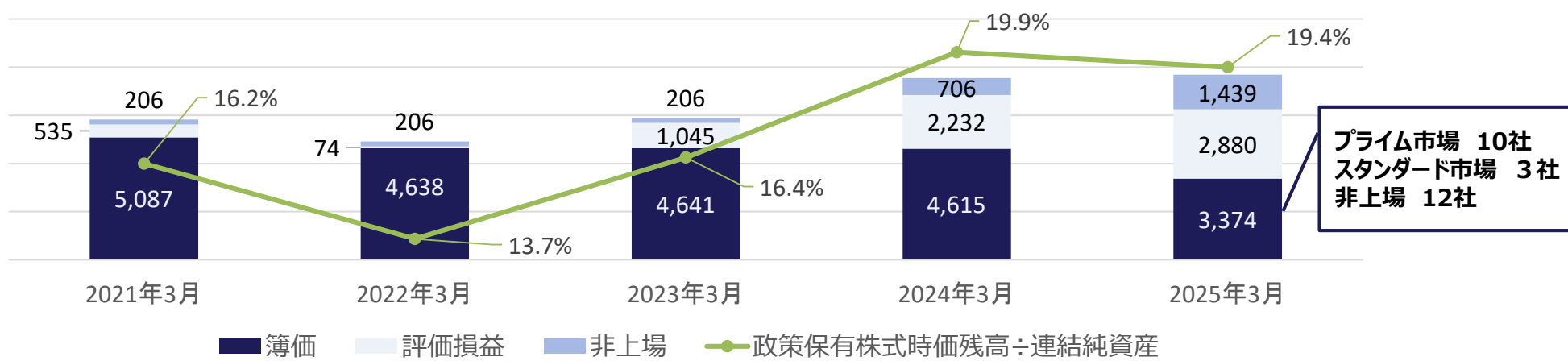


IV-8. 中期経営計画 「政策保有株式の削減状況」

当社は企業価値向上と資本効率向上に向けて、更なる成長投資及び持続的な自己株式取得等の株主還元を実現するため、中期経営計画「KFW-2026」期間の3年間で政策保有株式の50%(約40億円)削減を目指しております。

○政策保有株式残高推移

(単位：百万円)



○売却状況

業務提携への戦略投資等による株式取得

	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
取得金額	+223	+10	+2	+474	+735
売却金額(簿価)	▲290	▲460			▲1,243
評価額損益	—	▲460	+971	+1,187	+648
保有株式金額	5,828	4,918	5,892	7,553	7,693

IV-9. 中期経営計画 「小松マテール・サステナビリティ・ビジョン SDGsへの取り組み」

持続可能な社会の実現に向けた
取り組みをさらに加速させるため、
環境目標の数値を見直した。



気候変動対策



循環型社会づくりへの貢献



人々の感動の創造

適用範囲	小松マテール(株)グループ (小松マテール、コマクソン)			
策定期間	2021年度～2030年度			
目的	項目	基準年 2013年度	実績 2024年度	達成目標 2030年度
1.気候変動対策	温室効果ガスの削減：CO ₂ 重量原単位	4.74t-CO ₂ /t	▲23.5% (3.63t-CO ₂ /t)	▲46%
2.循環型社会づくり への貢献	①水の削減：水重量原単位	275m ³ /t	▲30% (193m ³ /t)	▲40%
	②廃棄物の削減：廃棄物重量原単位	0.190t/t	▲60% (0.0767t/t)	▲80%
	廃棄物のリサイクル率(埋立処理削減)	99.6%	99%	98%以上
	③有害化学物質の削減： 揮発有機溶剤(VOC)使用量重量原単位	0.96t/t	▲30% (0.68t/t)	▲50%
	撥水加工の非フッ素化推進： 非フッ素比率	6.6%	60%	100%
3.人々の感動の 創造	環境配慮商品(mateReco)の拡大： 売上比率	10% (2019年度)	31%	50%



質疑応答



ご清聴ありがとうございました。

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。